



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社 ピーエス三菱 上場取引所 東  
 コード番号 1871 URL <https://www.psmic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 森 拓也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 田中 良夫 TEL 03-6385-9111  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	23,344	△8.2	1,386	△39.9	1,390	△40.7	925	△40.3
2022年3月期第1四半期	25,420	12.3	2,307	111.2	2,345	114.1	1,550	107.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 985百万円 (△34.3%) 2022年3月期第1四半期 1,500百万円 (74.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.80	—
2022年3月期第1四半期	33.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	89,708	45,096	50.3	965.03
2022年3月期	93,100	45,533	48.9	974.37

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 45,095百万円 2022年3月期 45,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	49,000	△8.8	2,300	△42.3	2,300	△42.6	1,500	△47.3	32.10
通期	111,000	1.2	4,950	△25.2	4,800	△27.8	3,200	△29.5	68.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）-、除外 ー社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	47,486,029株	2022年3月期	47,486,029株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	755,840株	2022年3月期	755,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	46,730,217株	2022年3月期1Q	46,577,528株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	9
受注・売上・利益の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明感は強いものの、蔓延防止等重点措置の再適用は回避され、個人消費は回復基調となっております。一方で、ロシアのウクライナ侵攻を一因とした原油価格の上昇や金融市場の混乱が、個人消費に与える影響が懸念されてきております。また、この資源高は、単にエネルギー関連輸入額の急増だけでなく、供給制約による輸出回復の遅れにも影響しており、我が国の経常収支は悪化している状況にあります。

当社グループが属する建設業におきましては、老朽化したインフラ整備等の土木建設投資は依然として底堅い状況にあり、建築建設投資についても企業の投資基調の変化により、民間設備投資の緩やかな回復が見込まれております。しかしながら、海外情勢の影響により建設資材も高騰しており、コロナ禍の落ち込みから回復途上にある建設投資を下押しする可能性があり、今後の建設市場の懸念材料の一つとなっております。また、建設工事の内容が新設から維持・補修へと急激な質的变化を遂げており、建設コスト高も踏まえた事業収益モデルの再構築が最大の課題となっております。

このような経営環境下、当社グループは、「環境に配慮した事業活動を推進し、成長分野（大規模更新・PC建築・メンテナンス・海外）における収益力を強化するため、建設DXの推進と多様な人財活用により生産性を進化させる」をテーマとした「中期経営計画2022（2022年度～2024年度）」を策定し、今年度より計画の目標達成に向け事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高233億44百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。利益につきましては、売上総利益の減少及び販売費及び一般管理費の増加により、営業利益13億86百万円（前年同四半期比39.9%減）、経常利益13億90百万円（前年同四半期比40.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億25百万円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は666億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億88百万円減少いたしました。これは主にその他の棚卸資産が10億60百万円増加いたしました。受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等が50億20百万円減少したことによるものであります。固定資産は230億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億96百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が2億91百万円減少しましたが、リース資産が3億44百万円、投資その他の資産のその他の内、長期保証金が4億48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は897億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億92百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は341億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億66百万円減少いたしました。これは主に契約負債が29億17百万円増加いたしました。支払手形・工事未払金等が30億67百万円、電子記録債務が26億65百万円減少したことによるものであります。固定負債は105億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が68百万円、固定負債のその他の内、長期リース債務が2億81百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は446億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億55百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は450億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億36百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が4億96百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は50.3%（前連結会計年度末は48.9%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年8月5日）の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	9,947	9,541
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等	53,082	48,061
電子記録債権	1,471	1,600
未成工事支出金	2,852	2,527
その他の棚卸資産	1,362	2,423
未収入金	1,738	1,455
その他	472	1,211
貸倒引当金	△180	△163
流動資産合計	70,746	66,657
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,450	9,514
機械、運搬具及び工具器具備品	12,444	12,531
土地	8,697	8,698
リース資産	908	1,252
建設仮勘定	123	284
減価償却累計額	△16,695	△16,854
有形固定資産合計	14,929	15,427
無形固定資産		
	119	114
投資その他の資産		
投資有価証券	2,721	2,763
破産更生債権等	1,170	1,171
繰延税金資産	1,531	1,239
退職給付に係る資産	2,052	2,061
その他	998	1,442
貸倒引当金	△1,169	△1,170
投資その他の資産合計	7,305	7,507
固定資産合計	22,354	23,050
資産合計	93,100	89,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,457	14,389
電子記録債務	6,455	3,789
短期借入金	6,008	5,985
未払法人税等	636	220
契約負債	2,133	5,050
賞与引当金	309	145
完成工事補償引当金	200	205
工事損失引当金	99	87
預り金	1,529	2,225
その他	2,541	2,004
流動負債合計	37,369	34,103
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
繰延税金負債	27	23
再評価に係る繰延税金負債	1,255	1,255
役員退職慰労引当金	84	71
株式報酬引当金	271	259
退職給付に係る負債	3,410	3,478
資産除去債務	254	255
その他	894	1,164
固定負債合計	10,197	10,508
負債合計	47,567	44,611
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,218	4,218
資本剰余金	8,110	8,110
利益剰余金	31,004	30,508
自己株式	△395	△395
株主資本合計	42,938	42,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020	1,037
土地再評価差額金	1,917	1,917
為替換算調整勘定	△288	△244
退職給付に係る調整累計額	△55	△55
その他の包括利益累計額合計	2,594	2,654
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,533	45,096
負債純資産合計	93,100	89,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	25,420	23,344
売上原価	20,929	19,599
売上総利益	4,491	3,744
販売費及び一般管理費	2,183	2,358
営業利益	2,307	1,386
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	65	14
持分法による投資利益	0	3
受取ロイヤリティー	10	6
スクラップ売却益	11	13
為替差益	—	27
その他	13	12
営業外収益合計	101	79
営業外費用		
支払利息	18	28
為替差損	16	—
支払保証料	16	33
支払手数料	10	11
その他	1	2
営業外費用合計	63	75
経常利益	2,345	1,390
特別利益		
固定資産売却益	11	20
特別利益合計	11	20
特別損失		
固定資産除売却損	0	12
投資有価証券評価損	3	5
投資有価証券売却損	12	—
その他	—	0
特別損失合計	16	19
税金等調整前四半期純利益	2,340	1,392
法人税、住民税及び事業税	327	185
法人税等調整額	462	281
法人税等合計	789	467
四半期純利益	1,550	925
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,550	925

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,550	925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	16
為替換算調整勘定	16	21
退職給付に係る調整額	△7	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	16	22
その他の包括利益合計	△50	60
四半期包括利益	1,500	985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,500	985
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	土木事業	建築事業	製造事業	その他 兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,606	8,326	304	182	25,420	—	25,420
セグメント間の内部売上高又は振替高	137	3	471	34	647	△647	—
計	16,744	8,329	776	217	26,067	△647	25,420
セグメント利益(売上総利益)	3,656	717	52	129	4,556	△64	4,491

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,556
調整額(セグメント間取引消去)	△64
販売費及び一般管理費	△2,183
四半期連結損益計算書の営業利益	2,307

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	土木事業	建築事業	製造事業	その他 兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,770	7,161	223	189	23,344	—	23,344
セグメント間の内部売上高又は振替高	169	26	934	61	1,191	△1,191	—
計	15,939	7,187	1,157	250	24,536	△1,191	23,344
セグメント利益（売上総利益）	3,360	392	68	114	3,935	△190	3,744

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,935
調整額（セグメント間取引消去）	△190
販売費及び一般管理費	△2,358
四半期連結損益計算書の営業利益	1,386

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 補足情報

受注・売上・利益の状況

区分		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		比較増減 (△)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
受 注 高	土木事業	25,582	72.4	22,017	70.6	△3,565	△13.9
	建築事業	9,274	26.2	8,763	28.1	△511	△5.5
	製造事業	304	0.9	223	0.7	△81	△26.8
	その他兼業事業	182	0.5	191	0.6	8	4.8
	合計	35,344	100.0	31,194	100.0	△4,149	△11.7
売 上 高	土木事業	16,606	65.3	15,770	67.6	△836	△5.0
	建築事業	8,326	32.8	7,161	30.7	△1,165	△14.0
	製造事業	304	1.2	223	0.9	△81	△26.8
	その他兼業事業	182	0.7	189	0.8	7	3.9
	合計	25,420	100.0	23,344	100.0	△2,075	△8.2
利 益	土木事業	3,655	81.4	3,279	87.6	△376	△10.3
	建築事業	714	15.9	389	10.4	△325	△45.5
	製造事業	31	0.7	8	0.2	△23	△74.0
	その他兼業事業	88	2.0	67	1.8	△21	△24.0
	合計	4,491	100.0	3,744	100.0	△746	△16.6